

## 参加校

- (青森) 八戸聖ウルスラ学院中学校
- (山形) 山形県立東桜学館中学校
- (茨城) 茨城県立太田第一高等学校附属中学校  
茨城県立勝田中等教育学校  
清真学園中学校  
東洋大学附属牛久中学校
- (栃木) 栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校
- (千葉) 芝浦工業大学柏中学校  
翔凜中学校
- (東京) 筑波大学附属駒場中学校  
東京都立武蔵高等学校附属中学校  
東京都立三鷹中等教育学校  
東京都立大泉高等学校附属中学校  
千代田区立九段中等教育学校  
渋谷教育学園渋谷中学高等学校  
東洋英和女学院  
獨協中学高等学校  
品川女子学院中等部
- (神奈川) 聖光学院中学校  
栄光学園中学校  
浅野中学校
- (長野) 長野県屋代高等学校附属中学校
- (愛知) 南山中学校女子部
- (兵庫) 神戸大学附属中等教育学校
- (徳島) 徳島県立城ノ内中等教育学校
- (熊本) 熊本県立八代中学校  
熊本大学教育学部附属中学校

27校

PDA

# 第8回PDA 中学生即興型 英語ディベート 全国大会

The 8th PDA  
Junior High School Parliamentary Debate  
National Competition



**KDDI**  
KDDI Foundation

一般財団法人  
三菱みらい育成財団

公益財団法人  
Tazaki財団

JSPS  
San Francisco Office

【主催】一般社団法人 パーラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)

【共催】大阪公立大学

【後援】朝日新聞社、朝日中高生新聞、一般社団法人 日本英語交流連盟、JSPS San Francisco Office

【協賛】世界の第2言語学習者の英語運用能力測定を目的に開発された

TOEFL Primary(CEFR B1前半迄測定可)、TOEFL Junior(CEFR B2後半迄測定可)、

公益財団法人 Tazaki財団

【助成】公益財団法人 KDDI財団、一般財団法人 三菱みらい育成財団

---

## 趣旨

---

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)では、グローバルに活躍する人財育成の一手法として、英語での発信力、論理的思考力、幅広い知識・考え方、プレゼンテーション力、コミュニケーション力などの複数の力を効果的に訓練可能な即興型英語ディベートを推進しています。本大会では、即興型英語ディベートの普段の練習の成果を試し、全国の中学生と議論を交わすことで、さらなる成長・学習意欲を促すことを目的とします。授業での取り組み成果を発揮できるよう、形式は授業導入可能なフォーマットです。

参照:文部科学省助成事業 <http://englishdebate.org/debate/>

---

## スケジュール

---

日程 2025年3月16日(日)

09:30 受付  
09:50 開会式  
10:20 ラウンド1  
11:20 昼食交流会(11:30 ~ 12:00)  
12:10 ラウンド2  
13:20 ラウンド3  
14:30 決勝進出チーム発表、決勝準備  
14:35 キーノート  
14:50 決勝  
15:20 表彰式、アンケート  
15:40 終了

---

## ご挨拶

---

第8回PDA中学生即興型英語ディベート全国大会へのご参加をありがとうございます。高等学校の新学習指導要領では、2022年度から英語科の新科目「論理・表現」が掲げられ、活動としてディベートが明記されています。本大会で取り扱うディベートは、授業の50分で完結する形式であり、中学生にとって近い将来役立つ内容です。英語で発信する力のほか、様々な論題について多様な視点から考える力を鍛える一助となることを願っています。キーノートレクチャーもお楽しみください。最後に、PDAではAIディベートシステムを用意しています。大会に向けた練習や復習のお役に立てましたらと思います。



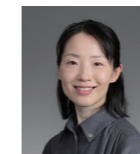
一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)代表理事  
中川智皓(大阪公立大学工学研究科・准教授)  
内閣府 上席科学技術政策フェロー  
東京大学生産技術研究所 リサーチフェロー

---

## キーノートスピーカーからのメッセージ

---

私は俳句をやっています。俳句は文芸(言語によって表現される芸術)なのでディベートとは縁がなさそうですが、ディベートを通して俳句作品の魅力をはっきりと浮かび上がらせることができたりもします。俳句甲子園などでディベートを通して鑑賞力を競うような取り組みもあります。真剣に議論を交わすディベートの世界では難しいのかなとも思うのですが、ディベートの世界が楽しみながら学べるような空間であればいいなと思っています。なぜなら、楽しみながら学ぶ姿勢こそが切り拓いてくれるものもあるような気がしているからです。



大阪公立大学大学院経済学研究科、教授・俳人  
杉田 菜穂 氏